

▽ 町連協だより

千歳市町内会連絡協議会

平成十六年度 定期総会開催

千歳市町連協は、五月八日(土)千歳平安閣に於いて、市内九十名の各町内会長が出席し、定期総会を開催した。

会議に先立ち、藤原会長は、挨拶の中で、「自治活動の抱える問題は、山積している。各機関とも連携し、確かな歩みを進めたい。頼られる町連協であるよう心がけていく。今後のご支援をお願いしたい。」と強調された。

続いて、新富北町内会長富樫保氏を議長に選出、議案審議に入った。鳴海総務部会長町連協事務局より提案された平成十五年度事業報告、収支決算報告を承認、続いて平成十六年度事業計画案、収支予算案並びに「組織全般の見直

しと、事務所開設に伴う特別

委員会の設置について」「緊急時の連絡網案について」の議案が提案され、慎重審議の末、全会一致で承認された。

平成十六年度の事業推進基本方針として、昨年度に継続して「明るく、楽しい、ふれあいのある町内会づくりをいかに進めるか」を掲げ、全組織を上げて取り組む事になります。

そのためには、各町内会が、抱えている諸問題を集約して、解決の糸口や方策を探る事が必要である、と確認された。以上の事から本年度重点事項を下記のように設定された。
一、町内会活動の実態調査を行う。

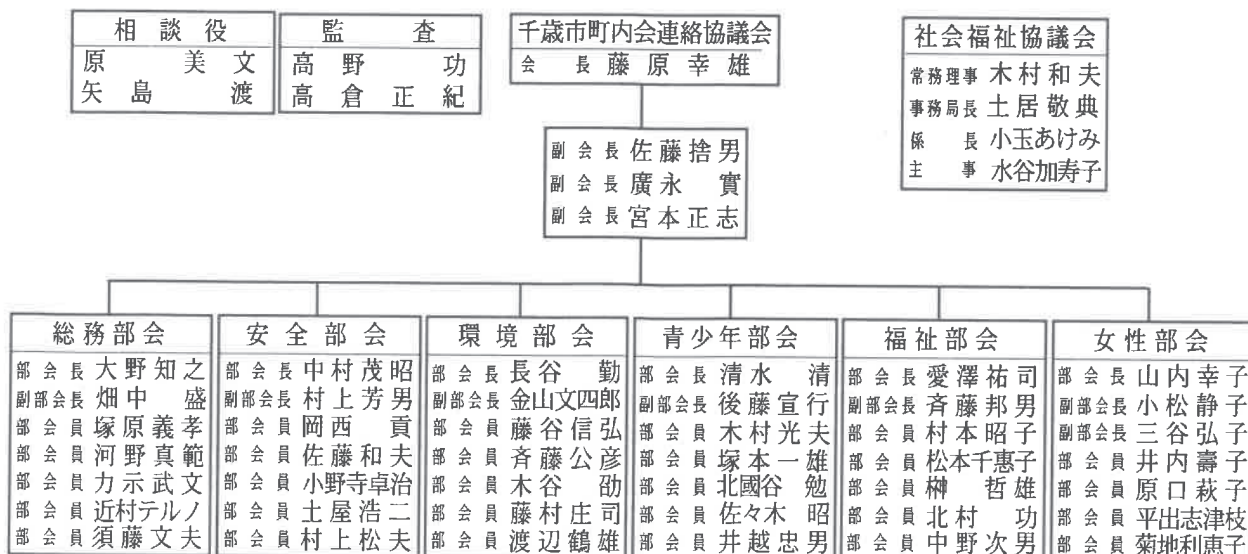
二、町内会未加入者の加入対策の取り組みを進める。
三、自主防災組織づくりを積極的に進める。

以上を重点事項とし、これを各専門部会で、具体化していききたい。そして、非常時の災害に備えて「安心して住めるまちづくり」を推し進めていきたい、と提案された。
又、新役員(理事)も提案され、満場一致で承認され新たなスタートをきる事になった。



第 15 号
平成 16 年 7 月 1 日
◆ 発行 ◆
千歳市町内会
連絡協議会
千歳市総合福祉センター
TEL(0123)27-2525
◆ 印刷 ◆
道央プリント
千歳市青葉6丁目1-8
TEL(0123)23-5535

千歳市町内会連絡協議会組織図 (平成16年度)



■新理事の一言■

文京一丁目町内会

会長 高倉正紀

初めて町連協の理事として名を連らねる事になり正直、困惑していますが、各町内会がかかえる諸問題に関り、少しでもお手伝いができればと考えています。

又、皆が住んでいて良かったと思える様な街・町内会になる事を目指し努力する所存です。

最後にこの機会を与えて頂いた皆様方に感謝を申し上げ、新理事の一言にします。

栄町東町内会

会長 須藤 文夫

山口市政の都市経営の基本は、「常に市民のために」である。

それを念頭においた、町連協の運営について、新理事はどう行動を起こし、各町内会相互の連絡調整及び協力をどうするのか。

積極的に取り組む努力をすべきと考えます。

又、各町内会の共通問題に対する研究協議も単に行政の下請け機関でない社会教育の最高の場です。

富士町内会

会長 村上松夫

公序良俗

コーポレート・ガバナンスこれからの組織経営のキーワード、日本流の公序良俗をこれに馴染ませればと考えている昨今です。

町内会は体力勝負、精々七十歳迄と二年目に入った若輩会長は次期会長を心に決め、とても本会のお手伝いを出来る器ではないのですが、勉強させて頂く機会ととらえお引受けいたしました次第。

目線は常に公序良俗で、宜しくお引回しの程を。

桂木五・六丁目町内会

会長 井越 忠男

子供の健全育成

子供の健全育成を目的とした子育てネットワーク活動も充実を目指し活発のようです。関係される皆様のご苦勞は大変であると思えます。

学校町内行事に見る小学生

の印象は明るく素直で活発です。

高学年になると色々難しく事もあり苦勞します。

親も学校も子供が正しい判断が出来るよう指導することが重要とされています。

勉強に励むも大事、スポーツを通じて強靱な身体と精神を鍛える事もより大事な事です。

健全な青少年の育成は、家庭、学校、地域の連携が不可欠です。私も努力したい。

北斗北町内会

会長 中野 次男

福祉部会員として

平成十六年度千歳市町連協の役員として選出され、大変重責を感じております。

少子高齢化社会において、千歳市社会福祉協議会の「社協だより」を毎月一ヶ年間一読しても判ると思えます。

福祉と言っても様々な問題があり、先輩の指導のもと皆さんと共に協力して、一生懸命頑張りたいと思えますので宜しくご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

町内会のご紹介

設立五十周年を迎えて

真々地自治会

会長 本宮 輝久

真々地自治会は今年で五十周年を迎え、去る五月二十三日町内会館にて記念式典を行いました。

当日は藤原町連協会長、石井千歳市民環境部次長を始め、長年町内活動を支援して頂いた方々を来賓にお招きして半世紀に亘る大きな節目を祝いました。

我が自治会は、昭和二十九年、朝鮮動乱による米軍の大量移駐に伴い千歳市内の風紀が非常に乱れ、青少年の非行化が社会問題になったことから子供達の不良化防止策の一環として町内に遊園地設置を計画、奔走した有志により、千歳では本町に次ぐ二番目の自治会として誕生しました。当時、百七十四世帯八百四十人だった住民は、五十年で四百七十世帯千二百二十七人に増えていきます。この間、時代の流れによる世情の変化に適



現在八専門部がありそれぞれ役割を分担しながら、真々地の三大事事といわれる「子ども神輿」「ふれあい広場」「敬老会」を始め多彩な行事を展開しています。チョット変わったところでは真々地の花として「こぶし」を制定し、町内歌「ふるさとままち（踊り付き）」をつくり、また今

応しながら、町民の融和、生活安定の確保、福祉の向上、環境衛生の浄化、募金活動等々次々と自治会事業を強化してきました。

年の総会では住民の和と子ども達の教育のために挨拶運動の推進を決議しました。



五十周年という節目を機に、先人達の並々ならぬ労苦に敬意を払いながら、これからも明るく助け合う、そして安全で、清潔な住み良いまちづくりに向けて努力して参りたいと考えております。

●向こう三軒両隣り

助け合い

北斗南町内会

会長 木村 光夫

北斗南町内会の創立は、千歳市が戦後の復興期も一段落し、市営工業団地誘致第一号の工場が創業開始、陸上自衛

隊第七師団が編成された翌年の昭和三十七年までさかのぼる。

当時、私有地を購入して団地造成した自衛隊員の四十世帯が、緑豊かで街の中心部を見下ろすことのできる高台にちなんで、「緑が丘町内会」の名で発足した。その後、昭和五十四年「北信濃」から「北斗」への町名変更にともない「北斗南町内会」と改称した。

創立四十二周年と北桜コミセン地域では最も早く設立され、現在は約百七十世帯を有する融和のとれた町内会として特色ある諸活動を展開している。

本町内会も他と同様にますます高齢化が進み、六十五歳以上の高齢者世帯が大方を占め、事業内容や予算など全ての面で町内会と若緑会(老人クラブ)との連携を一層深めながらの活動を柱として取り組んでいる。

〈特色ある主な活動〉

◎ふれあいお楽しみ会

出前講座(年四回)、交通安全教室、料理教室等の開催に合わせて、女性部、(町)ごと

婦人部(若緑会)による手料理(六、七千円程度の軽食)での会食を年間八回実施、その他公園除草作業、盆踊り大会、餅つき大会、新年会等の懇親会を含めると、月一回の顔合わせと交流の輪は会員相互の融和と結束を深める最高の憩いの場となっている。

◎「世代間交流」の盆踊り大会・餅つき大会

子供花火大会、ビンゴゲームを取り入れた納涼盆踊り大会、子供達にも杵を握らせて体験させる餅つき大会をおおして、世代間の一体化や会員相互の生活共同体としての意識の高場を図っている。

◎「剪定ボランティア活動」



定住したときにそれぞれが植樹した木々も大きくなり、今では枝が張ったり日陰になるなどの問題も生じている。

「町内会活動はボランティア活動」を合言葉に、技術のある仲間がチームを編成、要望に応じて計画的に剪定、伐採して喜ばれ、同時に町内の住環境の整備にも役立っている。

●皆が知り合い

助け合う町内会

旭ヶ丘町内会

会長 河野 真範

この地域は祝梅と言われ、三角山と言う丘陵地帯でした。十勝からの入植者がスイカを栽培していました。

関係者のマイホーム地として、部隊の官舎として開発が進み以来地域住民の協力で開発行為を行い今の住宅団地が形成されました。

現在の世帯数は五百数十世帯と思われませんが町内会加入は四百六十世帯です。

町内会の備品も充実し、多くの事業を実施しています。特に流通業務団地の緑地を

市から借り上げ造成したパークゴルフ場(二十七ホール)は町内の三つの児童公園と共に町内の有志で管理しています。

夏場は、毎週草刈やコース整備に多く人が努力していただいています。

花壇作りでは二年連続で緑



化協会の特別賞を受けるなど張り切っています。

夏の盆踊りは二日間行いますがバザーでは焼き鳥、焼きそば、フランクフルト、おでん、ビール、ジュース、掻き氷等原価提供してはいますが、一日に三十万円位の売上げとなり売手も汗だくの対応です。



又、踊りは、町内のストレッチクラブの人たちの踊り(昨年はきよしのズンドコ節とよさこい)また、子供盆踊りや北海盆唄を先頭になって踊り、二重の輪ができるほど盛況です。パソコン教室は、町内の岩山さんに七台も提供を受け、持込みノートパソコンも合わ

せて十数人の人が受けています。特に主婦や高齢者が主体で、ゆつくり繰り返し練習して体で覚えましょうと中々先に進みませんが、皆さん真剣にキーボードと取り組んでいます。

町内会館使用も多く月、金はカラオケ、木曜日はパッチワーク、日曜日は祝寿会と毎日有効に使われています。

その他にも町内行事はパークゴルフ大会(年二回)、子供キャンプ、子供神輿、ウォーキング(年二回)と多くの事業を多くの参加者で行っています。

■町内会の あす 未来■

町連協設立以来三十八年目を迎え、社会を取り巻く諸条件により、各町内会の抱える諸問題は想像以上と思われる。

「町内会は何のためにあるのか」という人もいますが、私は大切な組織だと思います。ゴミや街路灯のことだけでなく、目に見えない心の支え

合い、地域の防犯や除雪などの活動を担っています。

こども達の教育は、地域全体で目をかけなければなりません。

地域の困りごとは、個人が動きにつながらないことがあり、そんなとき、町内会は、問題解決の窓口になり得ます。

さまざま問題に対応するため普段から近所とのコミュニケーションを大事にすべきではないでしょうか。

そのために、町内活動の実態調査が必要と考えます。

北海道新聞が報じた「町内会・あす・未来」の文の一部を拝借しましたので、町内での話題にしていただき、活力になることを期待します。

☆世帯数減少で合併☆

「高齢者、転居などにより会員の数が減り、将来の活動を考えると、近くの町内会と一緒にやれないだろうか」「いまさら一緒にといわれても」と慎重論があつたが、一年を経過合併をきめた。

その後活動は活況を呈しゴミ処理施設の見学や花づくり等で笑顔が広がった。

☆理解得られず

退会者も☆

「正直いつて残念ですよ、理解してもらっていないと思つていたのに」玄関先に封筒が届けられその中に、「一身上の都合でやめさせてもらいます」月に二百円の会費をやりくりして、新入学児童に記念品を渡したり、街路灯の整備をしたり、学校との連携も。しかし理由は考えられる。

共働きの若い世代は、地域活動に参加する余裕もない。

マンションなどの集合住宅では、管理人がいなければ町内会に入るメリットを実感できず活動に無関心だ。

☆見守る近所

付き合い☆

七月中旬の或る夜、この町内会の女性役員等四人は、花火大会の打合わせをする予定だったが待ち合わせの時間なのに役員の一人が来ない。

以前に、この女性から「夫を亡くして、一人暮らしをしている」と聞いていた副部長は電話を掛けたが通じない。

胸騒ぎを覚え役員名簿にある女性宅の住所に行くと、新

聞受けがいつぱいになってテレビが鳴りつばなしになっていることがわかつたんです。「もつと早く家に行つていればと悔やみましたが」親戚の方から感謝はされました。「早く回復されるといいんですが」私も一人暮らしひとことではありません。

事例の一端は人の心を大きく動かすものかどうかは、ご判断におまかせします。

アンケート調査には、貴重なご意見を賜りたくお願ひします。

感謝されることは少なく、苦情は多くご苦勞様でございます。

会長さん頑張りましょう。

編集委員



◎総務部会

- 大野知之 畑中 盛
- 塚原義孝 河野真範
- 須藤文夫 近村テルノ
- 力示武文

◎事務局

- 小玉あけみ 水谷加寿子